

# うたしない 市議会だより

## 第51号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 平成30年8月1日

行政常任委員会で砂川吉野斎苑（火葬場）を視察



### 〔定例会の開催〕

6月12日～14日までの3日間定例会が開催されました。12日は、2件の報告を受け、議案5件が審議され、いずれも原案どおり可決されました。一般質問は13日4名、14日1名が行い、その後意見書案11件が審議され、採決の結果、いずれも原案どおり可決され閉会しました。

### 〔一部事務組合等議会〕

▽4月27日  
砂川地区保健衛生組合議会  
第1回臨時会 女鹿議員

平成30年  
第2回定例会  
6月開催

### もくじ

- 議会の動き …… 1P
- 一般質問 …… 2～3P
- 行政常任委員会報告 …… 4P
- 議案について …… 4P
- 可決された意見書 …… 4P

### 議会の動き

行政常任委員会で郷土館ゆめつむぎを視察





湯浅 礼子

一 地域おこし協力隊について

質 当市の地域おこし協力隊員の現状と今後の活動及び定住のための支援について伺う。

答 現在、当市の地域おこし

協力隊員は、ワイン用ぶどう試験栽培事業に従事している隊員1名。来年の4月末で任期が満了となるが、隊員もぶどう栽培、ワイン醸造に大きな可能性を見いだしている。で任期満了後も事業に従事し、定住につながるよう、本人と協議を重ねながら、実現可能な支援策がないかを検討する。

なお、4月に募集した、有害鳥獣駆除業務に従事する隊員については、3名の応募で、面接試験を行った結果、1名を5月末に採用を内定し、8月から活動を予定している。

二 旧西小学校の管理・活用について

質 旧西小学校の企業誘致及び活用管理状況について伺う。

答 本年2月、興味を持たれている企業を訪問し、面談をおこなった。その中で改めて、旧西小学校の活用について、

市産業開発促進条例に基づく支援策などを説明。相手方企業は、想定している事業には、まだ多くの課題があり、1〜2年以内に進出する計画はない。

今後、情報提供や情報交換を続けながら、進出に向け粘り強く折衝していく。

管理状況は、屋上の排水溝の調査、雪害調査、台風や大雨後の調査など、さらには、地域の方から連絡を受けた場合も点検確認をし、年間8回程度建物に変化がないか確認している。

グラウンド整備は、景観を維持する観点から、草刈りを行っていく。

三 遊休施設の活用について

質 長期休眠状況が続いているりんりん館の今後の活用方法及び売却などの問い合わせ状況について伺う。

答 旧いきがいセンターりんりん館は平成20年11月と平成27年8月の2回、一般競争入札にて建物売却を行なったが、購入者はいなかった。

平成27年9月以降、売却価格を1,400万円とし、購入希望者を募っているが、現時点で希望者がいない状況。



めが さとし

一 子育て世帯への支援について

質 小中学生の給食費の無料化(全額補助)を行ってはどうか。

答 給食費は平成26年・27年

度に値上げをしているが、その際の値上げ分は全て市が負担している。給食費全額無償化は恒久的に多額の財源を要するので現在考えていない。

質 冬のスキー授業でのスキルのレンタル化を行ってはどうか。

答 校長会で話を伺ったところ、PTAの方から、スキーのリサイクルの話が出ていたようです。

しかし、学校側としては、PTA主体であれば、学校の場所を提供するなど協力はできるが、学校が中心となりコーディネートして、リサイクルを推奨する場合、様々な問題が発生するため難しい旨を、PTAに話したと聞いている。

質 プール利用時のバスの利便性の改善に取り組んでいた。でも、協議をしたいと考えている。

質 夏休みに入ると、土日やお盆前後は、家族と過ごす児童が多いので、平日にバス運行している。夏休み期間中の平日はお盆前後の3日間を除き、終業式を含め15日間。この間で、子ども水泳教室3回を含めて、8回の運行をしております、さらに、サマーキャンプや歌小チャレンジサマーを実施し、児童館や、町内会等の行事もあるので、カレンダーに隙間なく行事が行われている。

質 夏休み中の児童には、午前中の涼しいうちに宿題や自由研究など家庭学習をしてもらい、日中はプールや児童館などで元気に遊んでもらい、早寝早起きを心がける習慣を奨励している。これ以上バス運行の便数を増やす考えはありません。

※この他に、高齢者支援対策の拡充についての質問を行っています。



下山 則義

一 職員手当について

質 札幌市職員の住居手当不正受給及び、懲戒処分に関する報道がありました。当市の住居手当受給状況について伺います。

答 平成30年5月支給分では、

全体で、93件、105万2,500円で、内訳は、持ち家、39件20万2,500円、借家、54件、85万円です。

質 親族間の契約について取り上げられていますが、当市の状況について伺います。

答 借家の支給対象54件中、1件が親族間契約によるものですが、不正受給のケースはありません。

質 通勤手当は、歌志内市職員給与条例第5章に規定がありますが、第21条第1項第2号のAと歌志内市職員採用条件の整合性について伺います。

答 国の条文に準じ、交通用具を使用して通勤する職員に対し、片道の距離に応じた手当額を定めているものです。通勤する職員に対し手当額を規定し、同項第2号は、派

# 一般質問



遣等で勤務先が市外となる職員に適用されます。

これにより、市内に通勤する職員は、片道5キロ以上、4,200円が最大となり、仮に滝川から通勤しても4,200円の通勤手当になりませんので、採用条件である市内居住との整合性は図られています。

## 二 薬用作物栽培可能性調査について

**質** 製薬関連企業から提供を受け、薬草の越冬可能性等の調査のために植栽した苗木の越冬状況について伺います。

**答** 越冬可能性を調査した当帰の苗木は280株で、露頭掘跡地に20株、ワイン用どう試験栽培地に260株植栽しています。

このうち越冬したのは、露頭掘跡地で6株、ワイン用どう試験栽培地では159株となっています。



酒井 雅勝

## 一 焼山線代替輸送バスについて

**質** 行政常任委員会でもお話しいただきましたが、焼山線代替輸送バスについて、中央バスへの補償金が多いことから、廃止を検討しているとのことでしたが、現在、そのバスの実際に利用されている方からの話などをリサーチされているのかお伺いします。

**答** 焼山線代替輸送バスにつきましては、昨年10月に14か所で実施した地区別市政懇談会にて、市民の皆さまに焼山線の現状を報告するとともに、「焼山線の廃止を含めた今後の在り方」について、焼山線を利用されている方、利用されていない方を問わずご意見を伺ったところです。

ご意見としては、「運行赤字に関する意見」「減便、廃止に関する意見」「代替案」や「タクシーの現状」など、32件の意見がございました。その後、中央バスや砂川市と協議を重ね、今後の補償金額についても増額傾向にあるため、今年度末までに一定の

方向性を導くため、改めて利用者の実態調査を行う予定で準備を進めております。

具体的には、6月25日から7日間連続で、市職員が焼山線全便に乗り込み、利用者数と、乗客に対し利用状況等についての聞き取り調査を行い、今後の参考とすることとしております。

**質** 平成30年度、31年度に想定される中央バスに対する補償金額について伺います。

**答** 焼山線の補償金額については、歌志内市負担分として平成29年度は722万4,130円を支出しましたが、これは道道文珠砂川線の通行止め等により運行便数が少なくなったため、例年よりも300万円程度補償金額が減少しております。

平成30年度以降につきましては、本年3月に中央バスに試算いただいたところ、平成30年度は、歌志内市の負担額が1,500万円程度、31年度は1日当たりの輸送量が国庫補助の基準以下となり、国庫補助は対象外で道補助のみとなるため、市の負担額は1,800万円程度になる見込みであります。



本田 加津子

## ※本年度の教育行政執行方針から

### 一 歌志内市の教育について

**質** 本年8月より、認定こども園が開設されます。幼児教育の充実等について、保健福祉課と連携し、教育・保育が提供できるよう努めてまいります。とあるが、提供される教育の内容について具体的に伺います。

**答** 教育委員会としては、認定こども園の幼児教育の基本的な事項において、連携が必要であると捉えている。それは、北海道教育委員会からも幼児教育における各種施策や情報が入ってくるので、それらを情報提供しながら連携してまいりたいと考えている。

なお、具体的な教育・保育の内容については、保健福祉課から情報をいただき、それらを把握しながら連携することになると考えている。

**質** 英語教育について、中学3年生で英語検定3級取得を目指すことも視野に入れた形で考えていきたいという考え

を伺ったが、歌志内市で英語教育を受ける児童・生徒が英語検定3級を取得できるよう、検定費用の助成など効果的だと考えるが、検定費用助成についての考えを伺います。

**答** 小・中学校には、個人的に英語検定を受けて、既に級を取得している子どももいるようです。また、2020年から始まる大学入学共通テストに民間英語検定が導入されるので、将来的な対策として、各種英語検定に対して挑戦できるような環境の整備ができればと考えている。

これまでも、教育委員会では、英語教育を軸に小中一貫教育を取り組む上で、英語検定に対する助成制度を設けて、積極的に英語検定を受ける環境があれば、より効果的に英語教育に取り組むことができると考えている。

現段階では、具体的な方策には至っていないが、英語検定のみではなく、できるだけ多く英語に触れる機会をつくる方策に取り組むこととして

※他に、奨学金貸付についての質問をいたしました。



議長

川野 敏夫

\*平成30年第2回定例会提出議案について、お知らせいたします。

一 報告第6号株式会社歌志内振興公社第35期事業報告及び第36期事業計画

売上総利益は8,718万

8,688円でこれから販売費及び一般管理費1億1,824万6,248円を差し引いた3,105万7,560円が営業損失となる。これに

利息、配当金、補助金等の雑収入2,961万5,365円を加え144万2,195円が経常損失となり、税引き後176万4,195円が当期純損失となる。

第36期事業計画として営業収益1億4,127万円、営業外収益4,162万2千円とし、営業費用1億8,085万5千円で、203万7千円の収支を目指すとする。

質 第35期途中で料理長が不在になって売上低下に繋がった。交代要員がいなくて体壊したと言うことだが、毎年人材確保の改善が見られないが、その要因は何か。

答 7月に料理長が不在となり、8月から業務委託している会社から派遣で料理レストラン部門を担当している。

料理長の不在というよりは、ホールのベテラン従業員が2人退職されたのが、サービステーションにマイナスになったと言える。調理人の人員は1・5人の体制で取り組む。

質 ホールの人材の確保を重点に取締役会にて詰める必要があると思うが。

答 振興公社としてハローワークへ求人をしている。第36期へ向けても人材の確保に努めるよう伝える。

質 ①第36期の計画の中、入館者、宿泊者は何名を予定しているのか。

②レストラン、宿泊、宴会では、新たなメニューの報道があるが、この収入額の根拠は。

③給与の支出が前期より増えているが、従業員数の変化は。

答 ①入館者は一日平均389人、宿泊は、同18人を予定。

②料理に海鮮系を取り入れ、ピザ、ザンギ等のテイクアウトを行って集客を増やす。

③人員は社員3名、パート14名の17名の体制としている。

行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

▽4月26日

- ・生活保護の現況について
- ・母子・父子自立支援、家庭児童相談の現況について
- ・介護保険事業の現況について
- ・社会福祉協議会への委託事業の状況について
- ・奨学金及び就学援助の状況について
- ・学校支援地域本部事業の取り組み状況について
- ・食育指導の状況について
- ・コミュニティセンターの管理運営状況について（現地視察含む）
- ・図書館の管理運営状況について（現地視察含む）
- ・郷土館の管理運営状況について（現地視察含む）
- ▽5月28日
- ・認定こども園新築工事の進捗状況について（現地視察含む）
- ・一般廃棄物最終処分場の管理運営状況について（現地視察含む）
- ・砂川地区保健衛生組合（火葬場）の現況について（現地視察含む）

可決された意見書

- 旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書
- ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書
- 日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書
- 地域材の利用拡大推進を求める意見書
- ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書
- 教職員の長時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）」の廃止を含めた見直しを求める意見書
- 教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書
- 2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書
- 2018年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ケアプラン点検による利用制限、ケアプラン有料化に反対する意見書
- 「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、機械的な高校統廃合を行わないことを求める意見書

※これら11件の意見書は6月14日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付しました。

編集後記

台風や大雨などで自然災害が発生しやすい季節となります。警報などの防災気象情報に注意し、災害への備えをもう一度確認しましょう。

編集長 めが